

研究計画書

ゼミ名	中川ゼミ II	チーム名	教育班
タイトル	ICT と兵庫型教科担任制の効果の実証分析		
テーマ群	c)公共経済		
メンバー			
研究計画内容	<p>現在、兵庫県下の小学校では兵庫型教科担任制と ICT を導入した教育が行われている。教科担任制の導入背景には、まず子どもたちの発達段階を踏まえた教育の改善がある。子供たちの発達に関する研究や知見では、小学校 4 年生前後を発達の区切りと見ることが多く身体的な発達や思春期がはやまっているとされているため従来の指導に工夫改善する必要があるとの指摘があった。次に学校間の連携や接続の改善である。思春期という心身共に発達課題の多い時期に新しい環境に入る際の移行が円滑に行われていないことが一つの要因と考えられる。</p> <p>また教育の現場における ICT の導入背景には文部科学省により ICT 教育を推奨されているにもかかわらず ICT 世界競争力ランキングにおいて、日本は多くの国に遅れを取っている状況にあるとされている。学校教育においても、我が国の ICT 環境の整備については着実に進められてはいるものの、他の先進国に比べると後れを取っている状況にある。そのため国際的に活躍できるよう、実社会を生き抜く力として ICT を活用して課題を解決する能力を有する人材を育成することが必要であり、ICT を活用した教育の現状に対して強い危機意識を持たなければならない状況にあるとされている。</p> <p>これらの話題性に加えて先行研究が少ないため新規性に富んでいると考え、このような状況で教科担任制と ICT が子供の学力や学習意欲に効果的であるかについて、データには全国学力テストの結果を用いて、分析を行う。この際神戸市教育委員会の方へのヒアリングの結果をもとに特に理科、算数に対する効果を分析する。最終的に、分析によって教科担任制および ICT 教育は子どもの学力や学習意欲の向上に効果的であるという結果が出ると仮定し、これらを活かした新たな教育を行うための政策提言を行う。</p>		